

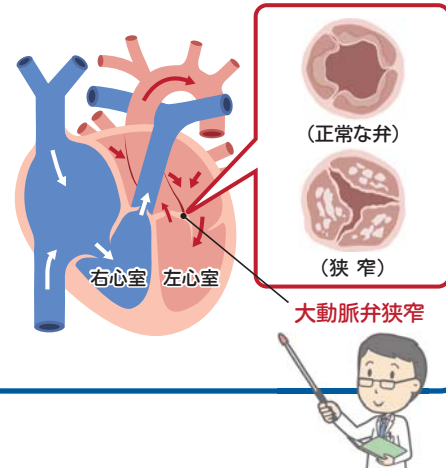
大動脈弁狭窄症について

心臓血管外科 吉龍 正雄

大動脈弁狭窄症とは？

心臓は全身のすみずみまで血液を送り、それにより脳をはじめとした全ての臓器の機能が保たれています。心臓には左心室という、ラグビーボールを半分にしたような形の筋肉の袋があり、これが収縮して、大動脈を介して全身に血液を送っています。大動脈弁は、左心室と大動脈の間にある一方通行のドア(=弁)であり、この大動脈弁が、動脈硬化などにより固くなって十分に開かなくなるとドアが狭くなり(=狭窄)、左心室が全身に血液を送り出すのに、毎回大変な労力を要します。この状態を「大動脈弁狭窄症」と言います。狭窄がひどくなると息切れや動悸などの心不全症状が出現し、更に重症化すると失神してしまいます。症状のある重症大動脈弁狭窄症は手術が必要となります。症状が出れば、平均余命は心不全で2年、失神で3年、狭心痛で5年と言われます。また、突然死を生じることもあります。

大動脈弁狭窄症



経カテーテル的大動脈弁置換術

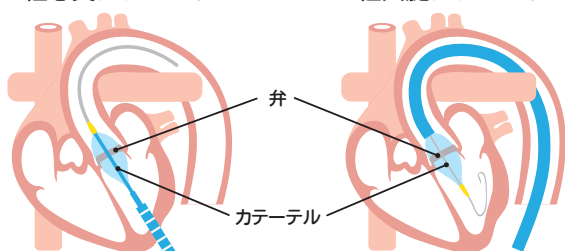
治療は手術で大動脈弁を切除し、新たに人工弁を縫い付けます。これを「大動脈弁置換術」と言います。大量の血液が通過する大動脈弁を手術するので、人工心肺装置という一時的に心臓と肺の役割をする装置を装着し、心臓を一時的に止めて行います。これは、医学の進歩した現在でも、手術による体への負担が少なくなく、ご高齢や他のご病気をお持ちで体力の低下した患者さんでは手術のリスクが高くなります。

一方、リスクの高い患者さんのため、胸を開かずに心臓が動いている状態でカテーテルを使って人工弁を装着する方法が、2002年にフランスで考案されました。これを「経カテーテル的大動脈弁置換術(TAVIまたはTAVR)」と言います。日本でも2013年10月より、保険適用となり、一定の基準を満たした医療機関でのみ、TAVRを行うことができます。当院も審査の結果、認定施設として承認され、いよいよ2018年2月よりTAVRを開始することになりました。

経カテーテル的大動脈弁置換術

経心尖アプローチ

経大腿アプローチ



肋骨の間を小さく切開し心臓の先端を通じてカテーテルを挿入

足の付け根から大動脈を通じてカテーテルを挿入

現在はTAVRの術後10年以上の成績が不明であるため、重症大動脈弁狭窄症の患者さんに対する治療は、原則、従来どおりの大動脈弁置換術であり、様々な理由で、大動脈弁置換術のリスクが高いと判断された患者さんのみTAVRを行うのが基本方針です。また、大動脈弁の形状により、TAVRができない場合もあります。詳しい治療方法については、心臓血管外科専門医までお問い合わせください。



関西ろうさい病院の理念

●● 良質な医療を働く人々に、地域の人々に、そして世界の人々のために ●●

病院運営の基本方針

- ・私たちは、働く人々の健康確保のための医療活動、即ち「勤労者医療」中核的役割を担ってこれを推進します。
- ・私たちは、急性期医療機関として良質で安全・高度な医療の提供を行うとともに、地域の諸機関と連携して地域医療の充実を図り「地域に生き、社会に応える病院」としての発展を目指します。
- ・私たちは、患者さんの権利を尊重し、医療の質の向上ならびに患者サービスの充実に励み、「信頼され、親しまれる病院」作りを心がけます。
- ・私たちは、「開かれた皆様の病院」として、ボランティアや有志の方々の病院運営への参加・協力を歓迎します。
- ・私たちは、病院使命の効果的な実現のために「働き甲斐のある職場」作りを行い、運営の効率化と経営の合理化を推進します。

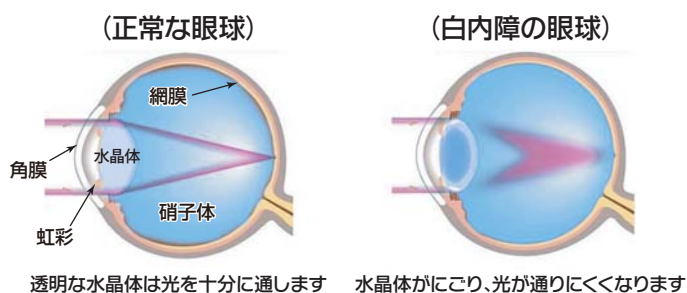
イメージキャラクター
かんろつこ

白内障

眼科 神田 慶介

白内障ってどんな病気？

正常な眼球と白内障の眼球



白内障は、眼の中のレンズ(水晶体)が白く濁ってくる病気です。それにより外からの光が眼の中に十分に入らなくなり、物が見えにくくなります。原因は加齢性、糖尿病性、アトピー性、薬剤性などがあります。初期の段階ではこれといった症状はありませんが、進行すると視力の低下や、眼のかすみ、まぶしい、片眼で見ても二重に見えたりすることがあります。

また加齢性の白内障は、50代で40~50%、60代で60~80%、70代で90%程度、80歳以上になるとほぼ100%とされています。

予防と治療について

タンパク質の酸化により水晶体が濁ることが白内障の原因のひとつであり、帽子やサングラスなどで紫外線から眼を守ることで酸化を防ぐことができます。また、体内で発生する活性酸素もタンパク質の酸化の原因となりますので、抗酸化力の高いビタミンCやビタミンEなどを摂取するようにし、活性酸素の発生を防ぐようにしましょう。

治療には、薬(点滴薬)による治療と手術があります。薬により、進行をある程度遅らせることはできますが、水晶体の濁りをなくし、視力を回復させるには手術が必要となります。

白内障の手術

日常生活で不快さや不便さを感じられたら、手術を受けることをお勧めします。一般的には早い時期の方が、痛みのない、短時間(10~15分程度)で安全な手術を行うことができ、合併症の発生率も低くなります。(ごく稀ですが感染症などが起こることがあります。)進行しすぎると長時間の手術となることが多く、負担が大きくなる恐れがあります。また、手術を受けずに放置してしまうと、緑内障発作や水晶体の脱臼など手遅れとなることもあります。

入院期間は、当院では片眼につき2泊3日(1泊も可能)で行います。身体の不自由な方や、点眼や清潔動作に不慣れな方でも安心して入院できます。また、洗顔、洗髪は術後約1週間できませんが(美容院などで上を向いて行うことは可能)、そのほかの日常生活は特に問題なく、テレビや読書は手術翌日から可能です。

当院では白内障の診断、手術を専門としています。詳しい治療方法については、眼科専門医までお問合せください。



水晶体再建術

